

令和3年度 実務経験のある教員の担当科目一覧

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
1	ヒューマンコミュニケーション	1	後期	1	薬学A (必修)	渡邊文之	渡邊文之	対人関係を良好に築けるようになるために、他者と自分の両者への理解を深め、他者から情報を適切に収集し、チームワーク、情報の伝え方、話の聴き方などの基本的なコミュニケーションスキルを身に付け医療人に求められる倫理観、ヒューマニティを養う。また、保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義・演習を実施する。
							安部恵	
2	特色教育入門Ⅰ (特色Ⅰ～Ⅲ)	1	後期	2	薬学B (必修)	松本宜明	岸川幸生	特色のある薬剤師の職能について知る。特色のある薬剤師の実践能力を修得するため、1年次から系統的に設置してある特色教育科目の流れを学び、6年次の特色科目の概略を理解する。さらに医療人としての高い使命感や倫理観の醸成と医療に参画するための基盤を学ぶ。また、大学病院、調剤薬局の薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							林宏行	
							渡邊文之	
							荒川基記	
3	特別講義Ⅰ	1	前期	2	薬学C (選択)	荒川基記	岸川幸生	1人の患者について時間を追いながら、その時々にかかる患者の状態や気持ちを理解し、薬剤師として何ができるか、何をすべきかを学習者自らが積極的に考える。また、病院・保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義・演習を実施する。
							渡邊文之	
							安部恵	
							荒川基記	
							小田桐功武	
4	医療倫理	2	前期	2	総合教育 (必修)	辻泰弘	加納久雄	人間の生と死に深くかかわる医療人として、知っておくべき倫理指針 (ガイドライン) や倫理的知識と倫理的問題点などを理解し、自ら考えてゆくことを学習目標とする。提示する臨床事例を通して、学生自身で「医療人となる感性を自己開発する努力」をして欲しい。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							辻泰弘	
							荒川基記	
5	医療と法	2	後期	2	総合教育 (必修)	岸川幸生	加納久雄	わたしたちの社会は医療専門職としての薬剤師にどのような役割を求めているのでしょうか。法を手掛かりに、社会における医療・薬剤師の位置づけとその役割について理解することがこの講義の目標です。医療人としての倫理観、ヒューマニティの醸成にもつながります。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							岸川幸生	
							安部恵	
							荒川基記	
6	薬学と社会Ⅰ	2	前期	2	薬学A (必修)	岸川幸生	泉澤恵	患者・生活者のために多職種や多施設と円滑に連携できる薬剤師として行動できるようになるために、薬剤師業務に関わる制度やしきみ、地域における薬局の役割についての理解を深める。地域薬局で薬剤師として実務経験がある教員 (渡邊、安部、泉澤)、大学病院で薬剤師としての実務経験のある教員 (岸川) が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							岸川幸生	
							渡邊文之	
							安部恵	
7	疾患と薬物治療Ⅰ	2	後期	2	薬学A (必修)	小菅康弘	阿部雅紀 (非常勤講師)	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、心臓血管系疾患、腎尿路系疾患、さらに、それらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。また、大学病院等で実臨床に携わっている教員が実際の医療現場の医師としての視点から講義する。
							福家吉伸 (非常勤講師)	
							依田俊一 (非常勤講師)	
							北野大輔 (非常勤講師)	
							齋藤佑記 (非常勤講師)	
							永嶋孝一 (非常勤講師)	
深町大介 (非常勤講師)								
8	特色教育入門Ⅱ (特色Ⅰ～Ⅲ)	2	前期	1	薬学B (必修)	林宏行	大場延浩	特色教育入門Ⅰに引き続き3つの特色教育の中で、自分が選択した内容を理解することと同時に、選択しない特色教育の特徴を理解する。治療科目に関連して、患者への最善の薬物治療がどのようなものであるかを説明できる。地域系科目に関連して、地域医療に貢献できる薬剤師に必要な知識を習得し、それを実践するための基礎力について説明できる。経営系科目に関連して、医療に関わる経済や経営について具体的に説明できる。これらの3つの系統の特色について討議してまとめる。また、大学病院等で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							林宏行	
							渡邊文之	
							安部恵	
9	チーム医療入門 (特色Ⅰ)	2	後期	1	薬学B (選択)	日高慎二	大場延浩	医療スタッフとの連携・協働という視点で、特色ある能力を有する薬剤師としての役割とその重要性を学びます。代表的な医薬品の薬物体内動態の制御法と薬物治療や化学構造と薬理活性との関係について理解し、適正使用を推進するため投薬前に行う処方設計および処方内容の確認・評価の重要性を認識する。また、先端医療の臨床応用に関する知識を修得するとともに、急性期医療、緩和ケア、感染対策、栄養サポート等の代表的なチーム医療において、患者のQOLの維持・向上、患者の人生観を尊重した療養の実現をサポートするため、薬剤師が実践する患者状況の把握、服薬計画・薬学的管理の手法を理解する。また、大学病院等で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
10	特別講義Ⅱ	2	前期	2	薬学C (選択)	大場延浩	大場延浩	生活習慣病は脳血管疾患などのリスク増加と関連しており患者数は増加している。薬剤師になると生活習慣病を持つ患者に関わる機会が多いので、生活習慣病を持つ1人の患者の状況をふまえて、薬剤師として必要な病気や薬物治療の知識とは何かを考え、患者の状態や気持ちをふまえて何をすべきかを学習者自らが積極的に考える。また、医療機関で医師や薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場でのニーズを踏まえた講義を実施する。
							加納久雄	
							岸川幸生	
							日高慎二	
11	疾患と薬物治療Ⅱ	3	前期	2	薬学A (必修)	木澤靖夫	加納久雄	医薬品の作用の過程を理解するために、呼吸器系、消化器系の生理・病態および代表的な薬物の薬効、作用機序、副作用および体内での運命に関する基礎知識を習得する。また、医学部付属病院で診療業務に携わる医師の立場から講義する(医学部教員)。また、大学病院等で実臨床に携わっている教員が実際の医療現場の医師としての視点から講義する。
							権寧博(非常勤講師)	
							楡井和重(非常勤講師)	
							中島典子(非常勤講師)	
							松本直樹(非常勤講師)	
服部知洋(非常勤講師)								
12	疾患と薬物治療Ⅲ	3	前期	2	薬学A (必修)	石毛久美子	小野真一(非常勤講師)	医薬品の作用の過程を理解するために、中枢神経系の生理・病態及び代表的な薬物の薬効、作用機序、副作用および体内での運命に関する基本的知識を修得する。また、大学病院等で実臨床に携わっている教員が実際の医療現場の医師としての視点から講義する。
13	疾患と薬物治療Ⅳ	3	後期	2	薬学A (必修)	石毛久美子	阿部雅紀(非常勤講師)	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、内分泌系疾患、代謝系疾患、泌尿器生殖器疾患、妊娠・分娩、さらに、これらの疾患に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。また、大学病院等で実臨床に携わっている教員が実際の医療現場の医師としての視点から講義する。
							石原寿光(非常勤講師)	
							小野真一(非常勤講師)	
14	疾患と薬物治療Ⅴ	3	後期	2	薬学A (必修)	木澤靖夫	武井正美(非常勤講師)	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、血液・免疫疾患、炎症・免疫疾患、皮膚疾患、更に、これらの疾患に用いられる代表的な医薬品に関する基礎知識を習得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。また、大学病院等で実臨床に携わっている教員が実際の医療現場の医師としての視点から講義する。
							入山規良(非常勤講師)	
							小野真一(非常勤講師)	
15	臨床薬理学	3	後期	2	薬学A (必修)	松本宜明	辻泰弘	臨床における薬物の効果と薬物動態の関係について理解するために、薬物動態の基本から薬物治療への応用までを、臨床の事例により説明でき、最適な薬物治療計画が立案できる基本的知識を習得することを目的とする。薬物動態の基本概念については必ずこの講義で習得することを目的とする。また、大学病院の薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
16	医薬品情報学	3	後期	2	薬学A (必修)	大場延浩	大場延浩	医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を収集し、その情報を評価し、適切に情報提供を行うことについて理解する。EBM(EvidenceBasedMedicine)の実践の基礎となる薬剤疫学や臨床研究のデザインと臨床研究で得られた結果を読み解き、患者情報を踏まえ、医薬品情報を適切に活用できるスキルを身につける。病院・薬局で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							泉澤恵	
17	生物統計の基礎と応用	3	前期	2	薬学A (必修)	福岡憲泰	福岡憲泰	適正な薬物治療を行い、臨床上的問題解決を行うためには、ヒトを対象とした臨床試験結果や動物実験結果などの医薬品に関するデータを、科学的に評価する能力が求められる。生物統計の基礎と応用では、データの処理・整理方法や基本的な検定方法などの統計学の基礎、臨床試験の代表的な研究デザインおよび汎用されている解析法を理解し、実践のための基礎を修得する。また、大学病院にて薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師の視点から授業を実施する。
18	漢方医薬学概論	3	後期	1	薬学A (必修)	岸川幸生	岸川幸生	現代医療で使用されている生薬製剤・漢方薬について理解するために、漢方医学、アーユルヴェーダ医学、ユナニ医学、チベット医学、韓医学などの東洋医学の考え方やその基本的知識を理解する必要がある。特に、漢方医学の考え方、代表的な漢方処方への適用についての基本的知識を習得する。漢方薬の中で、146処方が医療用医薬品として厚生労働省により薬価標準収載品として承認されている。一般用医薬品の中には、294処方が承認されると共に中医処方を含む100種に及ぶ生薬製剤が使用されている。更に、212処方の薬局製剤がある。また、大学病院で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
19	症例検討(特色Ⅰ)	3	後期	1	薬学B (選択)	福岡憲泰	林宏行	おもな症例について薬物および患者側の双方から把握することで、疾病および病態がもたらす生体変化に応じた薬物療法および管理方法が望ましいものになることを理解する。また、大学病院にて薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師の視点から授業を実施する。
							福岡憲泰	
20	地域と薬剤師(特色Ⅱ)	3	後期	1	薬学B (選択)	渡邊文之	岸川幸生	地域医療における薬剤師の役割に関する知識を修得し、実践するための基礎を作る。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							渡邊文之	
							安部恵	
21	医療情報学(特色Ⅲ)	3	後期	1	薬学B (選択)	荒川基記	渡邊文之	将来、医薬品開発と生産に参画できるようになるために、医薬品開発の各プロセスについての基本的知識を習得し併せてそれらを実施する上で求められる適切な態度を身につける。また、病院・保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義・演習を実施する。なお、外部講師は病院で医師・薬剤師・看護師として実務経験のある者が実際の医療現場の視点から講義を実施する。
							荒川基記	
							小田桐功武	
							坂神宏	

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
22	特別講義Ⅲ	3	前期	2	薬学C (選択)	福岡憲泰	岸川幸生	医療の現場で起こる様々な倫理的課題に対して、心理・倫理・法的な側面を含めた多角的観点からの検討を踏まえた行動がとれるようになるための基礎力を養う。本授業はPBL (problem-based learning)形式で実施し、1回のPBLは4限と5限続けて実施する。ただし、第1回目はガイダンスとするため4限のみとする。以後は4限と5限連続で7回のPBLを実施する。大学病院または保険薬局にて薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師の視点から授業を実施する。
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							安部恵	
23	プレ実務実習Ⅰ	4	前期	1	薬学A (必修)	渡邊文之	大場延浩	患者との信頼関係を築き薬物治療を適正に支援できる薬剤師になるために、医療人に求められる患者や看護者への配慮事項および薬剤師の情報収集・提供の技法に関わる知識・技能・態度を培う。医療者の担い手が守るべき倫理規範や法令、健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が関わることの重要性およびインシデントやアクシデントを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。また、病院・保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から実習を実施する。
							岸川幸生	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							渡邊文之	
							安部恵	
							荒川基記	
							小田桐功武	
							坂神宏	
中島理恵								
24	プレ実務実習Ⅱ	4	後期	2	薬学A (必修)	林宏行	大場延浩	患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。また、病院・保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から実習を実施する。
							加納久雄	
							岸川幸生	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							渡邊文之	
							安部恵	
							荒川基記	
							泉澤恵	
							小田桐功武	
							坂神宏	
中島理恵								
花岡峻輔								
25	薬学と社会Ⅱ	4	前期	2	薬学A (必修)	日高慎二	日高慎二	社会において薬剤師として適切な行動ができるようになるために、薬剤師業務に関わる制度、その根拠となる法律、および、薬剤経済学についての基本的な知識と技能を習得する。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							荒川基記	
26	EBMと薬物治療	4	前期	2	薬学A (必修)	岸川幸生	加納久雄	診療ガイドラインとEBMの違いを理解した上で、個々の患者により良い薬物治療を提唱できるようになることを目標とする。「3年次までに修得した疾患や薬物療法などを主とする総合的な知識を基とし、実地臨床ではどのように薬物治療が患者に提供されるのか」を修得することを目的とする。本授業はTBL (team-based learning)形式で実施し、1回のTBLは2コマ続けて実施する。初回はオリエンテーションで1コマのみとする。以後は2コマ連続で7回のTBLを実施する。また、病院で医師、薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の医療者の視点から講義を実施する。
							岸川幸生	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
泉澤恵								

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
27	実務事前学習Ⅰ	4	前期	2	薬学A（必修）	日高慎二	大場延浩	患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。また、大学病院や保険薬局等で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							岸川幸生	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							渡邊文之	
							荒川基記	
							小田桐功武	
坂神宏								
28	実務事前学習Ⅱ	4	前期	2	薬学A（必修）	大場延浩	大場延浩	患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。処方せんに基づく調剤：処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を修得する。また、医療機関で医師や薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場でのニーズを踏まえた講義を実施する。
							加納久雄	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							渡邊文之	
							安部恵	
							泉澤恵	
29	実務事前学習Ⅲ	4	後期	2	薬学A（必修）	岸川幸生	大場延浩	薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践に必要な基本的事項を修得する。患者に安全・最適な薬物治療を提供するために、適切に患者情報を収集した上で、状態を正しく評価し、適切な医薬品情報を基に、個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力を習得する。また、病院で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							岸川幸生	
							辻泰弘	
							林宏行	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							渡邊文之	
							安部恵	
							荒川基記	
小田桐功武								
坂神宏								
30	実務事前学習Ⅳ	4	後期	1	薬学A（必修）	福岡憲泰	大場延浩	これまでの実務事前学習やプレ実務実習で学んだことをふり返るとともに、実務実習で想定されるようなさらなる現場指向の事例や問題の解決について考え、実習生として望まれる対応や解決策を提案することを目標とする。また、いずれも大学病院を始めとする病院や薬局にて薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場における薬剤師の視点から授業を実施する。
							岸川幸生	
							日高慎二	
							福岡憲泰	
							安部恵	
荒川基記								
31	分野別統合講義Ⅳ	4	後期	1	薬学A（必修）	日高慎二	大場延浩	本講義は『分野別演習講義』と連携して、[E2薬理・病態・薬物治療、E3薬物治療に役立つ情報]、[B薬学と社会（A基本事項を除く）]、[F薬学臨床]の分野の基本的知識の復習を目的とする。具体的には[B、E2、E3、F（Aを除く）]のSB0に沿った講義を行い、各自が修得しているはずの知識の確認・補強および再確認を行うという復習形式の授業である。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							加納久雄	
							日高慎二	
							泉澤恵	
32	高齢者医療概論（特色Ⅰ～Ⅲ）	4	前期	1	薬学B（必修）	畑春実	林宏行	我が国の超高齢社会の現状と問題を把握し、高齢者特有の身体的、生理的、心理的特徴を理解することで、薬剤師ならびに社会人として高齢者の支援（医療、介護、保健、福祉）に関わるために必要な知識、態度を習得する。高齢者の包括的支援においては、多くの職種が関わる必要があるため、実務経験のある教員からチーム医療、多職種連携の重要性と薬剤師に求められる専門性について学ぶことで理解を深める。
33	医薬品評価と安全性監視（特色Ⅰ）	4	後期	1	薬学B（選択）	日高慎二	大場延浩	医薬品の品質、有効性及び安全性の確保及び向上に寄与するために必要な知識を修得する。医療分野の研究開発の成果の実用化や製造販売後において、その品質、有効性及び安全性を科学的知見に基づき適正かつ迅速に予測、評価及び判断することにより、科学技術の成果を人と社会に役立てることを目標とする。また、大学病院等で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
							日高慎二	

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
34	経営戦略論（特色Ⅲ）	4	後期	1	薬学B（選択）	泉 澤 恵	泉 澤 恵 流 石 学（非常勤講師）	医療者（薬剤師）の視点と経営的な視点から、医療機関、医療関連企業の経営戦略を考えられるようになることを授業の目的とする。病院・薬局で薬剤師として実務経験のある教員、第一線で活躍する医療コンサルタント及び企業経営者である教員が、医療と経営のハイブリッドな視点から講義を実施する。
35	分野別演習講義Ⅳ	4	後期	1	薬学C（選択）	日 高 慎 二	加 納 久 雄 林 宏 行 日 高 慎 二 福 岡 憲 泰 泉 澤 恵	本講義は『分野別統合講義』と連携して、[E2薬理・病態・薬物治療、E3薬物治療に役立つ情報]、[B薬学と社会（A基本事項を除く）]、[F薬学臨床]の分野の基本的知識の復習を目的とする。具体的には[B、E2、E3、F（Aを除く）]のSB0に沿った講義を行い、各自が修得しているはずの知識の確認・補強および再確認を行うという復習形式の授業である。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
36	薬学実務実習	5	各11週	20	薬学A（必修）	林 宏 行		薬剤師免許を取得する前に実施される薬学実務実習では、病院および薬局において医療現場の臨場感にふれ、医療における薬剤師の役割と責任を理解する。調剤ならびに服薬指導など、薬剤管理を適切に行い、安心で安全、適切な薬物療法に貢献し患者、医療スタッフおよび社会から信頼される医療の担い手になるために、薬剤師として必要な知識、技能、態度を修得する。なお、実務実習ではがん、高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症といった代表的8疾患については必ず学ぶこと。実務実習では、ワークショップ形式及び講習会形式の認定実務実習指導薬剤師養成研修を全て修了した実務実習指導薬剤師が、社会的要請に応えられる薬剤師を養成するために実習早期より臨床現場で必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを学修するための実習を行う。
37	実務薬学総論	6	前期	2	薬学A（必修）	林 宏 行	大 場 延 浩 林 宏 行 辻 泰 弘 日 高 慎 二 福 岡 憲 泰 荒 川 基 記	5年次の実務実習で学んだ内容を振り返り、薬学の知識を統合して問題解決に資する知識を高める。患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な事項を再度修得する総合的な科目として位置づけ、薬剤師として国民の健康増進に寄与するために行われている取り組みについて理解する。また、病院、薬局で薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の医療者の視点から講義を実施する。
38	緩和医療（特色Ⅰ）	6	前期	1	薬学B（選択）	岸 川 幸 生	岸 川 幸 生 小 田 桐 功 武 坂 神 宏	現代の医療において緩和ケアを必要とする患者は多い。緩和ケアの目標は、患者のQOLを向上あるいは維持することである。そのため、緩和ケアに従事する者には、患者のQOLを低下させる要因となる痛みやその他の苦痛に対応できる能力が求められる。本講義では緩和ケアについての理解を深め、緩和ケアにおける薬剤師の役割を習得する。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
39	実践感染対策と栄養サポート（特色Ⅰ）	6	前期	1	薬学B（選択）	林 宏 行	林 宏 行 小 田 桐 功 武 坂 神 宏	栄養管理と感染症について、最新の診療ガイドラインに則り、実際に施設内で行われている治療法を理解できるようになることを目標とする。また、病院で医師、薬剤師として実務経験のある教員が、実際の医療現場の医療者の視点から講義を実施する。
40	急性期医療と薬学的管理（特色Ⅰ）	6	前期	1	薬学B（選択）	日 高 慎 二	大 場 延 浩 日 高 慎 二 福 岡 憲 泰 荒 川 基 記 小 田 桐 功 武 坂 神 宏	代表的な疾患における患者情報の把握と医薬品情報を収集することにより、最善の治療計画を立案して継続的に薬学的ケアを実践していくために必要な能力を身に付けます。また、大学病院等で薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。
41	応用薬剤学（特色Ⅰ）	6	前期	1	薬学B（選択）	鈴 木 豊 史	辻 泰 弘	医療に使用される薬物は、各種剤形に製剤化されたものである。製剤化においては、薬物の化学的、物理的、生物学的特性を明らかにし、広範な薬剤学の知識を集結して、活性を有する成分の有効性と安全性を確保するだけでなく、患者の使いやすさにも考慮する必要がある。さらに、医療現場では薬物適正使用の視点からも、薬物動態モデルを構築して、薬物投与量、投与間隔の立案ができる能力は必要である。このように、製剤特性とその動態特性の両者を正しく理解し、把握することは、薬剤師の特長であるとともに、特色教育Ⅰが目指す”最新かつ広範な薬物療法の提案能力を修得する”ために必須な要素の1つである。【応用薬剤学】では、5年次までの特色教育Ⅰで学修した薬物治療に特化した知識を基礎に、これらの知識を薬剤学分野に活用し応用することを目標にしている。・薬剤学の発展として、鼻腔内投与製剤を一例に焦点を絞り、製剤の特徴や製剤の持つ社会的役割・意義・波及効果について考えながら、世界的な市場、日本未発売の製剤、DDS技術、投与装置（デバイス）などの動向をインターネットを用いて検索・調査し、プレゼンテーションを通じて議論できることを目標とする。・薬物動態学の発展として、薬物治療の適正化へ寄与するために、薬物動態/薬効解析のモデルを用いて、薬物投与量、投与間隔の立案ができるための知識を習得することを目標とする。また、大学病院及び保険薬局等で医師または薬剤師として実務経験のある教員が実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。

No.	科目名	年次	学期	単位	科目区分	科目責任者	実務の経験のある教員	授業概要及び目標
42	薬局経営学（特色Ⅲ）	6	前期	1	薬学B（選択）	渡 邊 文 之	渡 邊 文 之	医療提供施設，健康拠点としての薬局経営・管理のために必要な基本的スキルを理解する。また， <u>保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が，実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義・演習を実施する。</u>
43	薬剤経済学（特色Ⅲ）	6	前期	1	薬学B（選択）	安 部 恵	安 部 恵	薬剤経済学の分析方法や考え方を通して，医薬品，薬物療法，ひいては薬剤師職能の社会的価値を検討する方法を学ぶ。 <u>薬局薬剤師としての経験に基づき現場での問題点を視野に入れ講義を行う。</u>
44	医薬品マーケティング（特色Ⅲ）	6	前期	1	薬学B（選択）	渡 邊 文 之	渡 邊 文 之	企業における医薬品及び医療機器マーケティングの考え方を理解する。企業が永続的に利益を得るためにマーケティングのスキルをどのように活用しているかを理解する。また， <u>保険薬局で薬剤師として実務経験のある教員が，実際の医療現場の薬剤師としての視点から講義を実施する。</u>
							泉 澤 恵	

85

以上，実務経験のある教員等による授業科目数の合計は44科目（合計85単位）